愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	地理学		
担当者(Instructors)	柴田 陽一	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

地理学の歴史の流れに沿いつつ、様々な＜地理学的なものの見方・考え方＞について解説する。この見方・考え方は意識されていないことも多いが、実は私たちの生活のいろんなところに活用され、また存在しているものである。本授業では、地域・空間・分布・立地・知覚・環境などをキーワードにして、この見方・考え方を解説する。授業を通じて、身近な問題を新たな視点から捉え直すきっかけを提供する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	授業は毎回配布する授業プリントに基づき、講義形式を中心として行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	地理と地理学	高校までに学んだ地理の内容を振り返るとともに、本授業の進め方や、参考図書などについて説明する。	□
第2回	地図とスケール①	現代の様々な地図の種類や用途、地図の歴史について学ぶ。今昔マップを用いて身近な地域の変貌を調べる。	□
第3回	地図のスケール②	地図の描き方や、スケールによって物事の見え方が異なることについて学ぶ。	□
第4回	地誌の歴史と役割	ヨーロッパ・中国・日本の事例を学びながら、地域の特徴を記した地誌が各時代で果たした役割を考える。	□
第5回	人間と環境の関係	いわゆる環境決定論と可能論、和辻の風土論を取り上げながら環境論について学ぶ。	□
第6回	農業はどのように立地するか	チューネンの農業立地論を手がかりとして、現代の農業立地について考える。	□
第7回	大都市と中小都市の関係	クリスタラーの中心地論を学んだ上で、現代の都市構造や都市システムについて考える。	□
第8回	知識や技術の広がり方・伝わり方	空間的相互作用と空間的拡散研究を応用して、商圏や流行性伝染病を地理学的に考える。	□
第9回	メンタルマップ①	リンチの都市研究や子どもの手描き地図研究から、空間の捉え方は人によってどのように異なるのかを考える。	□
第10回	メンタルマップ②	場所イメージがどのようにつくられ、いかなる影響を及ぼすのかを具体例にもとに学ぶ。	□
第11回	場所への愛着	場所への愛着、没場所性を中心として人文主義地理学について学び、身の回りの	□
第12回	景観と風景のちがい	重伝建や文化的景観の事例から景観論、富士山や国立公園の事例から風景論について学ぶ。	□
第13回	時間と空間からみた人間の行動	時間地理学の基礎を学び、私たちの普段の生活にある様々な制約について考える。	□
第14回	「男性」/「女性」にとっての空間	ジェンダーマップや中年シングル男性の語りから、ジェンダー関係が組み込まれた身の回りの空間を再考する。	□
第15回	地理教育に求められるもの	明治から現代までの地理教科書の移り変わりから、近代国家と地理教育の関係について学ぶ。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業中に紹介するウェブサイトを使って次週の予習を行う（2時間程度）。授業後は参考文献を読み、授業内容に対する理解を深める（2時間程度）。週によっては、小レポートや期末レポートを作成する必要がある。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回コメントペーパー（授業を聞いて考えたことや質問）の提出を課し、翌週フィードバックする。また、2回課す小レポートの内容は全体で共有する予定である。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	＜地理学的なものの見方・考え方＞について理解し、それを踏まえて身近な問題を説明することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
		50%	30%	20%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

「授業内試験」は各回のコメントペーパー、「その他」は2回課す小レポートのことを指す。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	使用しない	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	竹中克行編著『人文地理学のパースペクティブ』ミネルヴァ書房、2022年	9784623094486
2	上杉和央・香川雄一・近藤章夫編『みわたす・つなげる人文地理学』古今書院、2021年	9784772281218
3	竹中克行編著『人文地理学への招待』ミネルヴァ書房、2015年	9784623072293
4	人文地理学会編『人文地理学事典』丸善出版、2013年	9784621086872
5		